

耳鼻咽喉科・頭頸部外科医が解説する 上顎洞合併症への保存的対処法

口腔インプラント治療と上顎洞合併症

－ 歯科治療に伴う上顎洞合併症の病態と治療 －

著 佐藤 公則

久留米大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 客員教授

佐藤クリニック耳鼻咽喉科・頭頸部外科・睡眠呼吸障害センター 院長

口腔インプラント治療と上顎洞合併症 － 歯科治療に伴う上顎洞合併症の病態と治療 －

久留米大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 客員教授
佐藤クリニック耳鼻咽喉科・頭頸部外科・睡眠呼吸障害センター 院長
佐藤 公則



ゼニス出版

口腔インプラント治療に伴う個々の上顎洞合併症に対する病態の把握と治療法の選択には、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学（特に鼻科学）と口腔インプラント学（Oral implantology）の知識が必要である。本書は耳鼻咽喉科・頭頸部外科医により執筆された書である。歯科医師が読んでも容易に理解できるように、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、特に鼻科学の基本的な項目に関して解説した。また医師が読んでも容易に理解できるように口腔インプラント学の基本的な項目についても解説した。

本書が歯科医と耳鼻咽喉科・頭頸部外科医にとって参考になる書になれば、また適切な医科・歯科連携の指南書になれば幸いである。また何よりも医科と歯科のはざまで困惑する患者に、現代の医療水準に基づいた標準的な治療が提供されることを願ってやまない。

（著者まえがき一部抜粋）

A4変形・192ページ・フルカラー

定価：8,500円+税

2019年6月27日発行

編集・発行：ゼニス出版 <http://www.zenith-press.com>

Contents

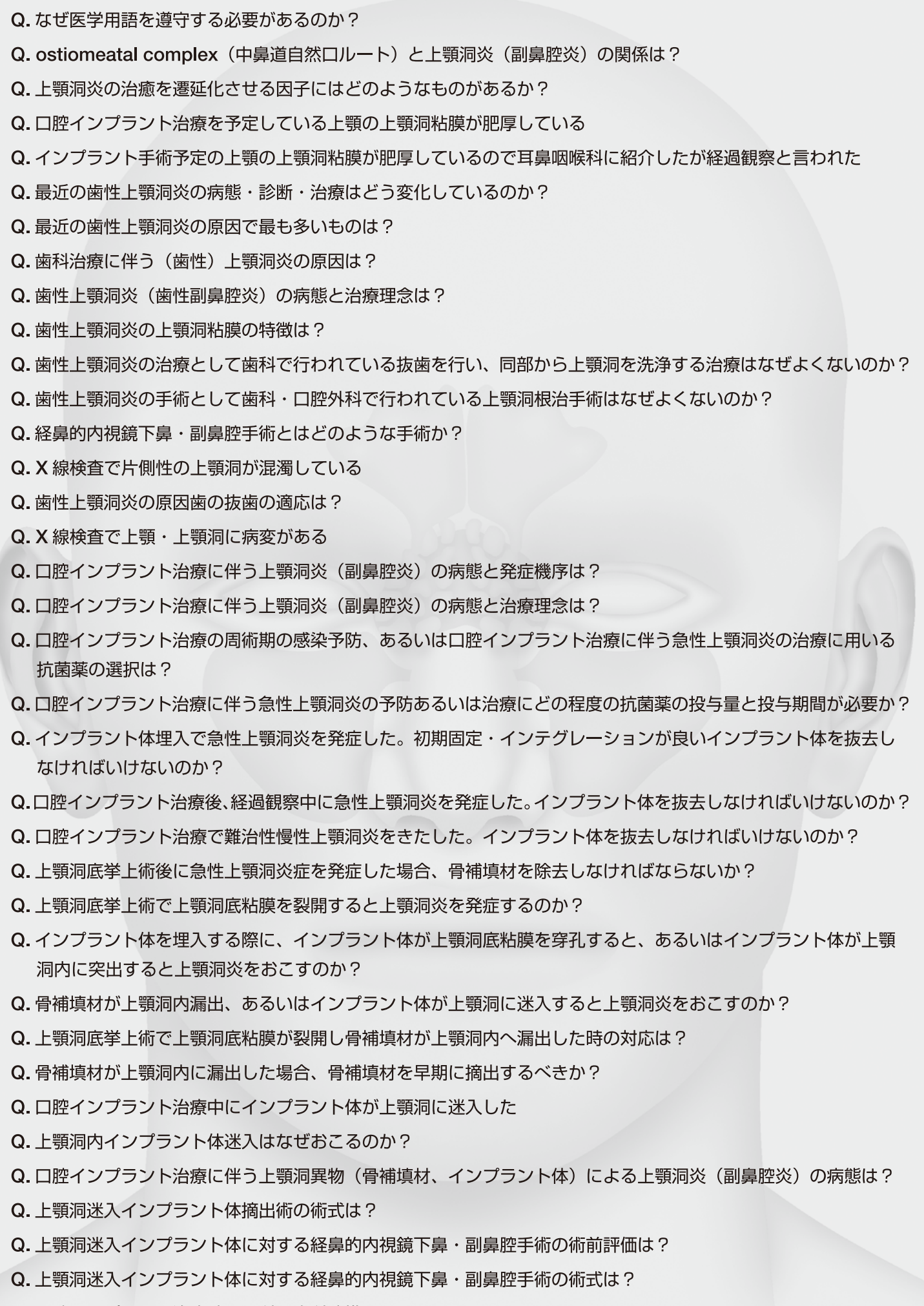
- 第1章 上顎洞の機能的臨床組織解剖 上顎洞の換気(ventilation)と排泄(drainage)
- 第2章 最近の歯性上顎洞炎の病態と治療
- 第3章 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医が知っておくべき口腔インプラント学 学術用語
- 第4章 鼻・副鼻腔疾患と口腔インプラント治療
- 第5章 口腔インプラント治療に伴う上顎洞炎：病態と治療
- 第6章 口腔インプラント治療に伴う上顎洞異物：病態と治療
- 第7章 口腔インプラント治療と上顎合併症 -耳鼻咽喉科・頭頸部外科と歯科・口腔外科での対応の違い-
- 第8章 クリニカル・クエスチョン こんな時どうする -歯科から耳鼻咽喉科へのよくある質問 Q&A-
(裏面参照)

ご予約・ご注文は

デンタルブックセンター
 **シエン社**

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-10

Tel.03-3816-7818 Fax.03-3818-0837 <http://www.shien.co.jp>

- 
- Q. なぜ医学用語を遵守する必要があるのか？
- Q. ostiomeatal complex（中鼻道自然口ルート）と上顎洞炎（副鼻腔炎）の関係は？
- Q. 上顎洞炎の治癒を遷延化させる因子にはどのようなものがあるか？
- Q. 口腔インプラント治療を予定している上顎の上顎洞粘膜が肥厚している
- Q. インプラント手術予定の上顎の上顎洞粘膜が肥厚しているので耳鼻咽喉科に紹介したが経過観察と言われた
- Q. 最近の歯性上顎洞炎の病態・診断・治療はどう変化しているのか？
- Q. 最近の歯性上顎洞炎の原因で最も多いものは？
- Q. 歯科治療に伴う（歯性）上顎洞炎の原因は？
- Q. 歯性上顎洞炎（歯性副鼻腔炎）の病態と治療理念は？
- Q. 歯性上顎洞炎の上顎洞粘膜の特徴は？
- Q. 歯性上顎洞炎の治療として歯科で行われている抜歯を行い、同部から上顎洞を洗浄する治療はなぜよくないのか？
- Q. 歯性上顎洞炎の手術として歯科・口腔外科で行われている上顎洞根治手術はなぜよくないのか？
- Q. 経鼻的内視鏡下鼻・副鼻腔手術とはどのような手術か？
- Q. X線検査で片側性の上顎洞が混濁している
- Q. 歯性上顎洞炎の原因歯の抜歯の適応は？
- Q. X線検査で上顎・上顎洞に病変がある
- Q. 口腔インプラント治療に伴う上顎洞炎（副鼻腔炎）の病態と発症機序は？
- Q. 口腔インプラント治療に伴う上顎洞炎（副鼻腔炎）の病態と治療理念は？
- Q. 口腔インプラント治療の周術期の感染予防、あるいは口腔インプラント治療に伴う急性上顎洞炎の治療に用いる抗菌薬の選択は？
- Q. 口腔インプラント治療に伴う急性上顎洞炎の予防あるいは治療にどの程度の抗菌薬の投与量と投与期間が必要か？
- Q. インプラント体埋入で急性上顎洞炎を発症した。初期固定・インテグレーションが良いインプラント体を抜去しなければいけないのか？
- Q. 口腔インプラント治療後、経過観察中に急性上顎洞炎を発症した。インプラント体を抜去しなければいけないのか？
- Q. 口腔インプラント治療で難治性慢性上顎洞炎をきたした。インプラント体を抜去しなければいけないのか？
- Q. 上顎洞底挙上術後に急性上顎洞炎症を発症した場合、骨補填材を除去しなければならないか？
- Q. 上顎洞底挙上術で上顎洞底粘膜を裂開すると上顎洞炎を発症するのか？
- Q. インプラント体を埋入する際に、インプラント体が上顎洞底粘膜を穿孔すると、あるいはインプラント体が上顎洞内に突出すると上顎洞炎をおこすのか？
- Q. 骨補填材が上顎洞内漏出、あるいはインプラント体が上顎洞に迷入すると上顎洞炎をおこすのか？
- Q. 上顎洞底挙上術で上顎洞底粘膜が裂開し骨補填材が上顎洞内へ漏出した時の対応は？
- Q. 骨補填材が上顎洞内に漏出した場合、骨補填材を早期に摘出するべきか？
- Q. 口腔インプラント治療中にインプラント体が上顎洞に迷入した
- Q. 上顎洞内インプラント体迷入はなぜおこるのか？
- Q. 口腔インプラント治療に伴う上顎洞異物（骨補填材、インプラント体）による上顎洞炎（副鼻腔炎）の病態は？
- Q. 上顎洞迷入インプラント体摘出術の術式は？
- Q. 上顎洞迷入インプラント体に対する経鼻的内視鏡下鼻・副鼻腔手術の術前評価は？
- Q. 上顎洞迷入インプラント体に対する経鼻的内視鏡下鼻・副鼻腔手術の術式は？
- Q. 口腔インプラント治療時の医科・歯科連携は？